

【船舶海洋工学科の履修内規】

専攻教育科目の履修

九州大学工学部履修の手引きに従って専攻教育科目を履修すること。

3 年次進級の条件

高年次基幹教育科目を除く全ての基幹教育科目を修得していること。

なお、入学時に配布されている各自の入学年度の「基幹教育 履修要項」の工学部船舶海洋工学科の項を注意して読むこと。

船舶海洋工学実地見学

船舶海洋工学に関連する実地見学を実施する。実施時期等の詳細は別途指示する。本見学は必修に準ずるものとする。

船舶海洋工学実習（工場実習）

3 年次夏期に船舶海洋工学に関連する工場での実習を実施する。本実習は必修に準ずるものとする。

卒業研究着手の条件

3 年次終了時点で以下の条件を全て満たすこと。

- 高年次基幹教育科目を除く全ての基幹教育科目を修得していること。
- 2 年次終了時点までに開講される専攻教育科目のうち必修科目（工学部共通必修科目、学科群共通必修科目、学科必修科目）を全て修得していること。
- 卒業までに修得すべき専攻教育科目の総単位の約 75%以上を修得していること。

特別講義

船舶海洋工学特別講義第一、第二、第三については一体として取り扱う。講義は 2 年次から 3 年次にかけて順次実施し、成績評価の上、4 年次に特別講義三科目の単位を同時に認定する。なお、特別講義の単位は上記卒業研究着手の条件に含める。

飛び級

3 年次終了時に成績が優秀な者は、入学試験を受けて大学院修士課程 1 年に飛び級できる。

基幹教育科目の履修と注意事項

2 年次開講科目（高年次基幹教育科目を除く）

2 年次終了までに全て修得すること。

高年次基幹教育科目

高年次基幹教育科目は 4 年次までに履修すればよいが、できるだけ早く履修すること。

言語文化科目（第 2 外国語）

基幹教育履修要項では、放送大学、および外国語検定試験の成績により単位に置き換えることを可能としている。しかし、手続き上、3 年生進級判定までに単位認定が間に合わないで、未修得者は必ず再履修すること。

履修計画

再履修については、IV 群、および VI 群クラスの時間割に限らず、他クラスでの履修が可能である。専攻教育科目との重複を避けるように努めて履修計画を立てること。重複が避けられない場合は教員に相談すること。なお、履修登録の前に、再履修科目の担当教員の許可を得ること。

履修科目が重複した場合

1 年次基幹教育科目の再履修科目と 2 年次に受講すべき専攻教育科目の時間割が重複した場合、基幹教育科目を優先して履修すること。なお、履修の重複登録は認めない。履修できない専攻教育科目は 3 年次に履修すること。

専攻教育科目履修の手引

工学部共通必修科目

学部共通												
授業科目		単位数		授業形態				標準割当時期				備考
科目ナンバリングコード	名 称	必修	選択	講義	演習	実習	実験	1				
								春	夏	秋	冬	
ENG-COM111IJ	工 学 倫 理	1		○				2春又は夏				I 群のみ夏学期
ENG-COM121IJ	デ ー タ サ イ エ ン ス 序 論	2		○						2		
計		3	一									

【留意事項】

※授業形態及び標準割当時期は変更になることがある。

※標準割当時期の数字：一週間当たりの開講時間数(2時間で1コマ)を表す。

(工学倫理：春学期又は夏学期に週1コマ開講
データサイエンス序論：後期(秋学期・冬学期)に週1コマ開講)

※履修時期について(I群～V群)

2年次前期まで：基幹教育科目(別冊)、学部共通科目(P10)及び学科群共通科目(P11～P13)を履修すること。ただし、IV群の学科群共通科目「フーリエ変換と偏微分方程式」については2年次後期に履修すること。

2年次後期以降：所属する学科の専攻教育科目(P14～P45)を履修すること。ただし、I・V群の学科では、2年次前期に開講する科目があるため注意すること。

※VI群の学生は、学科群が決定するまでは基幹教育科目(別冊)及び学部共通科目(P10)を履修すること。

※基幹教育科目の履修については、入学年度の基幹教育履修要項を参照すること。

学科群共通必修科目

IV群共通(ENG-ZZE)																
船舶海洋工学科(ENG-NAO)																
地球資源システム工学科(ENG-ERE)																
土木工学科(ENG-CVL)																
授業科目		単位数		授業形態				標準割当時期								備考
科目ナンバリングコード	名称	必修	選択	講義	演習	実習	実験	1				2				
								春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
ENG-ZZD2111J	常微分方程式とラプラス変換	2		○								2				
ENG-ZZD2121J	複素関数論	2		○								2				
ENG-ZZD2211J	固体力学	2		○								2				
ENG-ZZD2311J	地球環境総合工学	2		○								2				
ENG-ZZD2131J	フーリエ変換と偏微分方程式	2		○										2		
ENG-ZZD2411J	工学概論	2		○								2				
	計	12	0													

学科必修科目, および学科選択必修科目

船舶海洋工学科(ENG-NAO)																					
区分	授 業 科 目		単位数		授業形態				標準割当時期												備 考
	科目ナンバリングコード	名 称	必修	選択	講義	演習	実習	実験	2				3				4				
									春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	
学 科 共 通	ENG-NAO2141J	電 子 情 報 工 学 基 礎 I	1		○						2										
	ENG-NAO2142J	電 子 情 報 工 学 基 礎 II	1		○						2										
	ENG-NAO2143J	電 気 工 学 基 礎 I	1		○						2										
	ENG-NAO2144J	電 気 工 学 基 礎 II	1		○						2										
	ENG-NAO2145J	機 械 工 学 大 意 第 一	2		○						2										
	ENG-NAO2421J	空 間 表 現 実 習	1				○				4										
	ENG-NAO2211J	流体力学第一および同演習	1.5		○						4										
	ENG-NAO2422J	船 船 設 計	2		○						4										
	ENG-NAO2411J	船 舶 算 法 お よ び 同 演 習	1.5		○						4										
	ENG-NAO2311J	材 料 力 学 お よ び 同 演 習	1.5		○						4										
	ENG-NAO2412J	船 舶 復 原 性 お よ び 同 演 習	1.5		○						4										
	ENG-NAO2212J	流体力学第二および同演習	1.5		○						4										
	ENG-NAO2431J	自 動 制 御 工 学	2		○						4										
	ENG-NAO2351J	材 料 加 工 学	2		○								4								
	ENG-NAO3311J	弾 性 力 学	2		○								4								
	ENG-NAO3421J	船 舶 海 洋 製 図 第 一	1				○					5									
	ENG-NAO3221J	船 舶 海 洋 流 体 力 学 第 一	2		○						4										
	ENG-NAO3441J	機 能 設 計 工 学	2		○							4									
	ENG-NAO3321J	構 造 力 学 第 一 お よ び 同 演 習	1.5		○							4									
	ENG-NAO3711J	計 算 工 学 演 習 第 一	1			○						4									
	ENG-NAO3231J	船 船 運 動 論	2		○								4								
	ENG-NAO3322J	構 造 力 学 第 二 お よ び 同 演 習	1.5		○								4								
	ENG-NAO3422J	船 舶 海 洋 製 図 第 二	2				○							9							
	ENG-NAO3151J	情 報 処 理 概 論	2		○									2							
	ENG-NAO3323J	船 舶 海 洋 構 造 力 学	2		○									4							
	ENG-NAO3222J	船 舶 海 洋 流 体 力 学 第 二	2		○									4							
	ENG-NAO3331J	船 舶 海 洋 振 動 学 第 一	2		○										4						
	ENG-NAO3341J	材 料 強 度 学	2		○										4						
	ENG-NAO3232J	運 動 制 御 工 学	2		○											4					
	ENG-NAO3442J	環 境 設 計 工 学	2		○											4					
	ENG-NAO3431J	シ ス テ ム 設 計 工 学	2		○											4					
	ENG-NAO4131J	船 舶 海 洋 工 学 実 験	1					○									3				

区分	授 業 科 目		単位数		授業形態				標準割当時期												備 考	
	科目ナンバリングコード	名 称	必修	選択	講義	演習	実習	実験	2				3				4					
									春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬		
学 科 共 通	ENG-NAO4611J	舶 用 機 関	2		○													4				
	ENG-NAO2111J	工 学 力 学		2	○						2											
	ENG-NAO3111J	工 学 力 学 演 習		1		○							4									
	ENG-NAO3511J	海 洋 環 境 情 報 学		2	○									4								
	ENG-NAO3521J	海 洋 機 器 工 学		2	○									4								
	ENG-NAO3332J	船 舶 海 洋 振 動 学 第 二		2	○											4						
	ENG-NAO4451J	工 業 マ ネ ー ジ メ ン ト		2	○													4				
	ENG-NAO4711J	計 算 工 学 演 習 第 二		1		○												4				
	ENG-NAO4712J	構 造 解 析 演 習		1		○												4				
	ENG-NAO4121J	船 舶 海 洋 工 学 特 別 講 義 第 一		1	○														2			特別講義は一体として扱い、4年次に3科目の単位を同時に認定する。
	ENG-NAO4122J	船 舶 海 洋 工 学 特 別 講 義 第 二		1	○															2		
	ENG-NAO4123J	船 舶 海 洋 工 学 特 別 講 義 第 三		1	○																2	
		計	54.5	16																		
	ENG-NAO4811J	船 舶 海 洋 工 学 卒 業 研 究	6			○													24			
		計	60.5	16																		
卒業要件	基幹教育科目から 49.5 単位以上，専攻教育科目から 85.5 単位以上(必修科目 75.5 単位，選択科目 10 単位以上)，合計 135 単位以上 また，工場見学および工場実習について，船舶海洋工学科で定める内規に記載されている要件を満たさなければならない。																					
参 考		国 際 イ ノ ベ ー シ ョ ン 入 門	4																			
		国 際 オ ー プ ン マ イ ン ド 入 門	4																			
		国 際 コ ラ ボ レ ー シ ョ ン 入 門	4																			
大 学 院 連 携	ENG-NAO5521W	海 洋 浮 体 工 学 特 論	2		○													2				
	ENG-NAO5221J	船 舶 抵 抗 推 進 特 論 第 一	2		○													2				
	ENG-NAO5321W	船 舶 海 洋 構 造 力 学 特 論	2		○													2				
	ENG-NAO5351W	溶 接 設 計 第 一	2		○													4				
	ENG-NAO5442W	応 用 リ ス ク 解 析 学	2		○															2		
	ENG-NAO5232W	船 舶 運 動 特 論 第 二	2		○																2	

工学部：Ⅳ群（船舶海洋工学科・地球資源システム工学科・土木工学科）

【船舶海洋工学科 卒業要件：135単位】

【地球資源システム工学科 卒業要件：135単位】

【土木工学科 卒業要件：134.5単位】

1. 基幹教育科目

基幹教育科目では、卒業要件として（１）～（９）に従い、49.5単位以上を修得する。

なお、1年次において37.5単位を修得する。

（１）基幹教育セミナー

必修科目として「基幹教育セミナー」（1単位）を修得する。

（２）課題協学科目

必修科目として「課題協学科目」（2.5単位）を修得する。

（３）言語文化科目

言語文化科目から、第1外国語として「英語」を8単位以上、第2外国語を4単位以上修得する。

ただし、外国人留学生の第1・第2外国語の履修の特例を別に定める。（102ページ参照）

（第1・第2外国語の履修の詳細については102ページ以降を参照すること。）

（４）文系ディシプリン科目

文系ディシプリン科目は、4単位以上を修得する。

（５）理系ディシプリン科目

理系ディシプリン科目は、24単位以上を修得する。

1年次に右表の必修科目①の13科目18単位を修得する。

2年次以降に右表の必修科目②の1科目2単位を修得し、選択必修科目の中から4単位以上を修得する。

（６）サイバーセキュリティ科目

必修科目として「サイバーセキュリティ基礎論」（1単位）を修得する。

（７）健康・スポーツ科目

必修科目として「健康・スポーツ科学演習」（1単位）を修得する。

（８）総合科目

必修科目として「先端技術入門A, B」（各1単位）を修得する。

（９）高年次基幹教育科目

高年次基幹教育科目は、2年次以降に2単位以上を修得する。

なお、次の推奨科目を修得することが望ましい。

「環境調和型社会の構築」（2単位），「自然災害と防災」（2単位）

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件として85～85.5単位以上を修得する。

1年次に必修科目として「工学倫理」（1単位），「データサイエンス序論」（2単位）を修得する。

3. 進級について

進級については、ガイダンス時に配布する資料を参照のこと。

薄青色の枠は2年次以降の授業科目等を示す。

履修細目一覧（ 工学部 Ⅳ群（船舶海洋工学科・地球資源システム工学科・土木工学科） ）

卒業要件単位数		科目区分	科目区分毎の 最低修得単位数	授 業 科 目 ※1 (科目名の右隣にある括弧付き数字は単位数)				
卒業要件 【船舶海洋工 学科】 135 単位 【地球資源シ ステム工学科】 135 単位 【土木工学科】 134.5 単位	基幹教育科目 49.5単位 〔 1 年次に 37.5単位 を修得 〕	基幹教育 セミナー	1単位	【必修科目】基幹教育セミナー(1)				
		課題協学科目	2.5単位	【必修科目】課題協学科目(2.5)				
		言語文化科目 ※2	第1外国語 英語 8単位	言語文化 科目	英語 ※4	学術英語・アカデミックイシューズ(1), 学術英語・グローバルイシューズ(1) 学術英語・プロダクション1(1), 学術英語・プロダクション2(1) 学術英語・CALL1(1), 学術英語・CALL2(1) ※7 学術英語・テーマベース(各1), 学術英語・スキルベース(各1) 学術英語・集中演習(各2) 学術英語・上級(各2)		
					ドイツ語	ドイツ語ⅠA(1),ドイツ語ⅠB(1),ドイツ語ⅡA(1),ドイツ語ⅡB(1),ドイツ語プラクティクムⅠ(1) ドイツ語Ⅲ(1),ドイツ語Ⅳ(1),ドイツ語プラクティクムⅡ(1),ドイツ語プラクティクムⅢ(1)		
			フランス語		フランス語ⅠA(1),フランス語ⅠB(1),フランス語ⅡA(1),フランス語ⅡB(1),フランス語プラティクⅠ(1) フランス語Ⅲ(1),フランス語Ⅳ(1),フランス語プラティクⅡ(1),フランス語プラティクⅢ(1)			
			中国語		中国語ⅠA(1),中国語ⅠB(1),中国語ⅡA(1),中国語ⅡB(1),中国語実践Ⅰ(1),中国語集中演習(1) 中国語Ⅲ(1),中国語Ⅳ(1),中国語実践Ⅱ(1),中国語実践Ⅲ(1)			
			ロシア語		ロシア語ⅠA(1),ロシア語ⅠB(1),ロシア語ⅡA(1),ロシア語ⅡB(1) ロシア語Ⅲ(1),ロシア語Ⅳ(1)			
			韓国語		韓国語ⅠA(1),韓国語ⅠB(1),韓国語ⅡA(1),韓国語ⅡB(1) 韓国語Ⅲ(1),韓国語Ⅳ(1),韓国語表現演習Ⅰ(1),韓国語表現演習Ⅱ(1)			
			スペイン語		スペイン語ⅠA(1),スペイン語ⅠB(1),スペイン語ⅡA(1),スペイン語ⅡB(1) スペイン語Ⅲ(1),スペイン語Ⅳ(1),スペイン語表現演習Ⅰ(1),スペイン語表現演習Ⅱ(1)			
			日本語		【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ(1), 日本語Ⅱ(1), 日本語Ⅲ(1), 日本語Ⅳ(1) 日本語Ⅴ(1), 日本語Ⅵ(1), 日本語Ⅶ(1)			
		文系 ディシプリン科目	4単位	【選択必修科目】以下の科目は1年次に開講する。 哲学・思想入門(2) 芸術学入門(2) 先史学入門(2) 歴史学入門(2) 文学・言語学入門(2) 文化人類学入門(2) 地理学入門(2) 社会学入門(2) 心理学入門(2) 現代教育学入門(1) 教育基礎学入門(1) 法学入門(2) 政治学入門(2) 経済学入門(2) 経済史入門(2) The Law and Politics of International Society(2)				
		理系 ディシプリン科目	24単位	18単位	【必修科目①】以下の科目は1年次に開講する。 微分積分学Ⅰ(2) 微分積分学Ⅱ(2) 線形代数学Ⅰ(2) 線形代数学Ⅱ(2) 力学基礎(2) 力学基礎演習(1) 電磁気学基礎(1) 熱力学基礎(1) 無機物質化学Ⅰ(1) 有機物質化学Ⅰ(1) 図形科学Ⅰ(1) プログラミング演習(1) 自然科学総合実験(1)			
					2単位	【必修科目②】以下の科目は2年次に開講する。 数理統計学(2)		
				4単位	【選択必修科目】以下の科目は2年次に開講する。 電磁気学基礎演習(0.5) 熱力学基礎演習(0.5) 無機物質化学Ⅱ(1) 基礎化学結合論Ⅰ(1) 基礎化学結合論Ⅱ(1) 生物学概論(2) 地球科学(1) 最先端地球科学(1)			
					サイバーセキュ リティ科目	1単位	【必修科目】サイバーセキュリティ基礎論(1)	
				健康・スポーツ 科目	1単位	【必修科目】健康・スポーツ科学演習(1)		
	※5	総合科目	2単位	【必修科目】以下の科目は1年次に開講する。 先端技術入門A(1) 先端技術入門B(1)				
高年次 基幹教育科目		2単位	※3	【推奨科目】環境調和型社会の構築(2), 自然災害と防災(2)				
専攻教育科目		85～85.5単位 (※6)		【1年次・必修科目】 工学倫理(1) データサイエンス序論(2) 2年次以降の履修及び詳細は工学部履修の手引きを参照				

※1 表中に記載されている科目以外にも開講される科目があるので、87ページ以降の「基幹教育科目開講一覧」を参照すること。

※2 第1・第2外国語の履修の詳細については102ページ以降を参照すること。

※3 高年次基幹教育科目は2年次以降に2単位以上修得すること。

※4 単位数に「各1」、「各2」と記載のある科目は、同じ科目を2つ以上重複して履修する事ができる。
(同じ科目を重複して履修する場合、講義題目あるいはコース名や教科書・内容が異なるものを選択すること。)

※5 総合科目、高年次基幹教育科目は、履修要項144ページ以降及びシラバスで授業概要等を確認し、履修計画を立てること。

※6 2年次後期以降の進学先学科により、修得単位数が異なる。

※7 学術英語・CALL1は1年前期に、学術英語・CALL2は1年後期にWeb教材で自学を中心とする授業を行い、学修履歴と各学期末の試験、1年開始時と2年開始時のTOEFL-ITPにより成績評価を行う。固定した授業曜日・時限を設けない。

工学部：Ⅵ群

【卒業要件：Ⅰ群～Ⅴ群のいずれかに準ずる】

1. 基幹教育科目

基幹教育科目では、卒業要件として（１）～（９）に従い、Ⅰ～Ⅴ群が定める４５.５～４９.５単位以上を修得する。
なお、１年次において３６.５単位を修得する。

（１）基幹教育セミナー

必修科目として「基幹教育セミナー」（１単位）を修得する。

（２）課題協学科目

必修科目として「課題協学科目」（２.５単位）を修得する。

（３）言語文化科目

言語文化科目から、第１外国語として「英語」を８単位以上、第２外国語を４単位以上修得する。
ただし、外国人留学生の第１・第２外国語の履修の特例を別に定める。（１０２ページ参照）
（第１・第２外国語の履修の詳細については１０２ページ以降を参照すること。）

（４）文系ディシプリン科目

文系ディシプリン科目は、４単位以上を修得する。

（５）理系ディシプリン科目

理系ディシプリン科目は、Ⅰ～Ⅴ群が定める２０～２４単位以上を修得する。
１年次に右表の必修科目の１２科目１７単位を修得する。
２年次にⅠ～Ⅴ群が定める３～７単位を修得する。

（６）サイバーセキュリティ科目

必修科目として「サイバーセキュリティ基礎論」（１単位）を修得する。

（７）健康・スポーツ科目

必修科目として「健康・スポーツ科学演習」（１単位）を修得する。

（８）総合科目

必修科目として「先端技術入門A, B」（各１単位）を修得する。

（９）高年次基幹教育科目

高年次基幹教育科目は、２年次以降に２単位以上を修得する。

2. 専攻教育科目

専攻教育科目では、卒業要件としてⅠ～Ⅴ群が定める８２～８９単位以上を修得する。
１年次に必修科目として「工学倫理」（１単位）、「データサイエンス序論」（２単位）を修得する。

履修細目一覧（ 工学部 VI群 ）

薄青色の枠は2年次以降の授業科目等を示す。

※2年次進級時に、Ⅰ～Ⅴ群のいずれかの群に配属となるため、2年次以降の履修の詳細については、各群の履修細目を確認すること。

卒業要件単位数		科目区分	科目区分毎の 最低修得単位数		授 業 科 目 ※1 (科目名の右隣にある括弧付き数字は単位数)		
Ⅰ 群～Ⅴ 群 のいずれかに 準ずる	基幹教育科目 Ⅰ 群～Ⅴ 群のい ずれかに準ずる 〔 1 年次に 36.5単位を 修得 〕	基幹教育 セミナー	1 単位		【必修科目】基幹教育セミナー(1)		
		課題協学科目	2.5 単位		【必修科目】課題協学科目(2.5)		
		言語文化科目 ※2	第 1 外国語 英語 8 単位		言語文化 科目	英語 ※4	学術英語・アカデミックイシューズ(1)、学術英語・グローバルイシューズ(1) 学術英語・プロダクション 1 (1)、学術英語・プロダクション 2 (1) 学術英語・CALL 1 (1)、学術英語・CALL 2 (1) ※7 学術英語・テーマベース(各1)、学術英語・スキルベース(各1) 学術英語・集中演習(各2) 専門英語(各 1) 学術英語・上級(各2)
			第 2 外国語 1 外国語選択 4 単位			ドイツ語	ドイツ語Ⅰ A(1)、ドイツ語Ⅰ B(1)、ドイツ語Ⅱ A(1)、ドイツ語Ⅱ B(1)、ドイツ語プラクティクムⅠ (1) ドイツ語Ⅲ (1)、ドイツ語Ⅳ (1)、ドイツ語プラクティクムⅡ (1)、ドイツ語プラクティクムⅢ (1)
						フランス語	フランス語Ⅰ A(1)、フランス語Ⅰ B(1)、フランス語Ⅱ A(1)、フランス語Ⅱ B(1)、フランス語プラクティクⅠ (1) フランス語Ⅲ (1)、フランス語Ⅳ (1)、フランス語プラクティクⅡ (1)、フランス語プラクティクⅢ (1)
						中国語	中国語Ⅰ A(1)、中国語Ⅰ B(1)、中国語Ⅱ A(1)、中国語Ⅱ B(1)、中国語実践Ⅰ (1)、中国語集中演習(1) 中国語Ⅲ (1)、中国語Ⅳ (1)、中国語実践Ⅱ (1)、中国語実践Ⅲ (1)
						ロシア語	ロシア語Ⅰ A(1)、ロシア語Ⅰ B(1)、ロシア語Ⅱ A(1)、ロシア語Ⅱ B(1) ロシア語Ⅲ (1)、ロシア語Ⅳ (1)
						韓国語	韓国語Ⅰ A(1)、韓国語Ⅰ B(1)、韓国語Ⅱ A(1)、韓国語Ⅱ B(1) 韓国語Ⅲ (1)、韓国語Ⅳ (1)、韓国語表現演習Ⅰ (1)、韓国語表現演習Ⅱ (1)
						スペイン語	スペイン語Ⅰ A(1)、スペイン語Ⅰ B(1)、スペイン語Ⅱ A(1)、スペイン語Ⅱ B(1) スペイン語Ⅲ (1)、スペイン語Ⅳ (1)、スペイン語表現演習Ⅰ (1)、スペイン語表現演習Ⅱ (1)
						日本語	【外国人留学生対象科目】 日本語Ⅰ (1)、日本語Ⅱ (1)、日本語Ⅲ (1)、日本語Ⅳ (1) 日本語Ⅴ (1)、日本語Ⅵ (1)、日本語Ⅶ (1)
		文系 ディシプリン科目	4 単位		【選択必修科目】以下の科目は 1 年次に開講する。 哲学・思想入門(2) 芸術学入門(2) 先史学入門(2) 歴史学入門(2) 文学・言語学入門(2) 文化人類学入門(2) 地理学入門(2) 社会学入門(2) 心理学入門(2) 現代教育学入門(1) 教育基礎学入門(1) 法学入門(2) 政治学入門(2) 経済学入門(2) 経済史入門(2) The Law and Politics of International Society(2)		
		理系 ディシプリン科目	Ⅰ 群～Ⅴ 群のい ずれかに 準 ずる	17 単位	【必修科目】以下の科目は 1 年次に開講する。 微分積分学Ⅰ (2) 微分積分学Ⅱ (2) 線形代数学Ⅰ (2) 線形代数学Ⅱ (2) 力学基礎(2) 電磁気学基礎(1) 熱力学基礎(1) 無機物質化学Ⅰ (1) 有機物質化学Ⅰ (1) 図形科学Ⅰ (1) プログラミング演習(1) 自然科学総合実験(1)		
				2 年次以降に履修する理系ディシプリン科目の詳細については、各群の履修細目を確認すること。			
		サイバーセキュ リティ科目	1 単位		【必修科目】サイバーセキュリティ基礎論(1)		
		健康・スポーツ 科目	1 単位		【必修科目】健康・スポーツ科学演習(1)		
		※5	総合科目	2 単位		【必修科目】以下の科目は 1 年次に開講する。 先端技術入門 A(1) 先端技術入門 B(1)	
			高年次 基幹教育科目	2 単位	※3		
	専攻教育科目 (※6)					【1 年次・必修科目】 工学倫理(1) データサイエンス序論(2) 2 年次以降の履修及び詳細は工学部履修の手引きを参照	

- ※1 表中に記載されている科目以外にも開講される科目があるので、87ページ以降の「基幹教育科目開講一覧」を参照すること。
- ※2 第1・第2外国語の履修の詳細については102ページ以降を参照すること。
- ※3 高年次基幹教育科目は2年次以降に2単位以上修得すること。
- ※4 単位数に「各1」、「各2」と記載のある科目は、同じ科目を2つ以上重複して履修する事ができる。
(同じ科目を重複して履修する場合、講義題目あるいはコース名や教科書・内容が異なるものを選択すること。)
- ※5 総合科目、高年次基幹教育科目は、履修要項144ページ以降及びシラバスで授業概要等を確認し、履修計画を立てること。
- ※6 2年次後期以降の進学先学科により、修得単位数が異なる。
- ※7 学術英語・CALL1は1年前期に、学術英語・CALL2は1年後期にWeb教材で自学を中心とする授業を行い、学修履歴と各学期末の試験、1年開始時と2年開始時のTOEFL-ITPにより成績評価を行う。固定した授業曜日・時限を設けない。